

大会名 Competition	第68回 秋田県民体育大会バスケットボール競技 兼第72回 「愛顔（えがお）つなぐえひめ国体」秋田県代表スタッフ・選手選考会
男子決勝	Year Month Day Time 2017 年 7 月 2 日 12 : 30
場所 Place	横手市増田体育館



秋田県バスケットボール協会

チームA		チームB															
J R 東日本秋田	<table border="1"> <tr><td>31</td><td>1st</td><td>10</td></tr> <tr><td>21</td><td>2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>17</td><td>3rd</td><td>8</td></tr> <tr><td>21</td><td>4th</td><td>9</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	31	1st	10	21	2nd	13	17	3rd	8	21	4th	9		OT		厚生倶楽部
31	1st	10															
21	2nd	13															
17	3rd	8															
21	4th	9															
	OT																
90 ○		40 ●															

主審:Referee
谷地 温 秋田
副審:Umpire
鈴木 健太郎 秋田
田中 直幸 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
横手市協会

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
3	／	大矢 孝太郎		8	0	3	2	2	0		三戸 祥大		-	-	-	-	0
7	／	森 知史		1	0	0	1	1	1	／	伊藤 真人		2	0	0	2	2
8	／	志水 一希		5	1	1	0	1	2	×	草 薙 桂		8	0	4	0	2
9	×	石 橋 拓		6	0	2	2	1	3	／	上村 治弘		3	0	1	1	1
11	×	鈴木 隆史		23	5	3	2	3	6	／	渡部 宏斗		7	0	3	1	1
12	×	根岸 城二		12	0	6	0	2	7		草 皆 孝之		-	-	-	-	0
15	×	柳澤 洸太		14	0	7	0	0	8	×	吉川 雄磨		3	1	0	0	2
24	／	高 橋 純		0	0	0	0	1	9	×	近江 聖人		10	2	1	2	2
26	／	平塚 貴将		0	0	0	0	0	11		筒井 吉仁 ^{CAP}		-	-	-	-	0
30	／	舘 龍星		0	0	0	0	2	16	×	大塚 綾人		4	0	2	0	4
33	／	佐 藤 光		4	0	2	0	2	41	／	青井 佑樹		3	0	1	1	2
34		菊地 啓志		-	-	-	-	0	55		吉田 孝貴		-	-	-	-	0
39	／	櫻庭 朋久		0	0	0	0	0	56		嵯峨 優翔		-	-	-	-	0
91	／	斉藤 大輔		0	0	0	0	0	99	×	長谷川 誠		0	0	0	0	2
99	×	山崎 涉真 ^{CAP}		17	1	5	4	0					-	-	-	-	0
				-	-	-	-	0					-	-	-	-	0
				-	-	-	-	0					-	-	-	-	0
				-	-	-	-	0					-	-	-	-	0
				-	-	-	-	0					-	-	-	-	0
コーチ		柿崎 智弥							コーチ		筒井 吉仁						
Aコーチ		黒政 成広							Aコーチ		近江谷 淳一						
合計				90	7	29	11	15	合計				40	3	12	7	18

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1ピリオド: J R 東日本秋田はハーフのマンツーマン、厚生倶楽部は2:1:2のゾーンでスタートするが、すぐにハーフのマンツーマンとする。また、厚生倶楽部は、#99長谷川誠をスタートで起用し、リズムをつかもうとする。J R 東日本秋田は、#15柳澤のカットインシュートや、#12根岸のゴール下シュートで加点する。厚生倶楽部は、#2草薙のゴール下シュートで追従し、残り6分で11対4のスコア。厚生倶楽部のタイムアウト後、J R 東日本秋田は、ディフェンスの頑張りやリズムの良いオフェンスを展開し、31対10で第1ピリオド終了。

第2ピリオド: 厚生倶楽部は、#6渡部のゴール下シュートや、#8吉川の3ポイントシュートで31対16と追い上げるが、J R 東日本秋田は、#11鈴木連続3ポイントシュートで厚生倶楽部の反撃を許さない。残り7分過ぎのスコアは、39対16。J R 東日本秋田は、#3大矢のゴール下シュートやフリースロー等でさらに加点し、残り4分で44対16と突き放す。厚生倶楽部は、残り8分から4分までの間、ノーゴールで苦しい展開が続いた。その後、厚生倶楽部の#9近江が連続シュートを決め、44対21としたと残り3分、J R 東日本秋田がタイムアウト。第2ピリオドは、52対23で終了。

第3ピリオド: J R 東日本秋田はディフェンスの頑張りから速攻を出し、#99山崎がシュートを決める。残り5分、64対24と第3ピリオドで得点のない厚生倶楽部がタイムアウト。残り2分、厚生倶楽部は、#9近江、#2草薙の連続シュートで加点し、3ピリオド69対31で終了。

第4ピリオド: J R 東日本秋田は、メンバーを変えながらゲームをコントロールする。ディフェンスの粘り、シュートの正確さに勝るJ R 東日本秋田が終始ゲームをリードし、90対40で勝利する。

